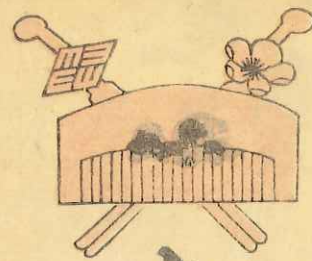


榮久堂

煤田舎

お梅様

うにじし重



與話情浮名横櫛

五編上之卷

山本平吉板

それよりつゝのちやうど 夫遠昔釋尊ハ雪山せんざんを出て法はふを説とく大聖孔子ハ魯國ろのくにより
つうてい 通て五常ごかうを諭さとを神かみハもとより此國このくにの三種寶さんしゆほうハあざらて
いんちやう 勸懲くうちやうの道みちのさう違ちがハぬ神聖かみで善惡ぜんあくの鏡かみハ移うつを真心まごころを
やまもやまも 濁にごせハ雲間うんかん雲うもハ若氣わくけの坂さか北きた二里塚にりづか色いろと欲よくの徑みち迷まよひ
あんないふ 正直しやうじき正路しやうろをよそふゝ 戀こひの重荷おもひもゆゑの浮世うきよの旅たび
ととも ハ道連みちづれの友ともハよるさへ話情わさなげの便べんらんもあれと三さんが
あやめ 島の仇夢あやめも離別りべつの蝶番てふぱん縁えんも躰みだもあれと再び結むすぶ三度さんど
ぐさ 笠草鞋かさぞうりの四乳しやうにちと稿成こうせと五編ごへんの催促さいそく筆ふでの立場たちばなもあらふ
こころ 意馬いばの短みづかう端綱はつかづなのれが無智むちをうつらひあつて

嘉永八乙卯

青陽日發行



煤田舎好文述



風うき
女如
の如
う
あ
う



伊豆屋
与五郎
同言号
かつる



観音久治

穂積

左近の
妻
關路

同存

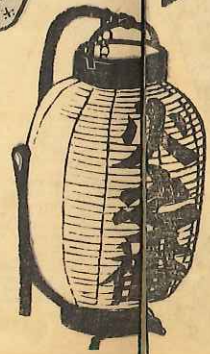
店番
火の
用心

向疵の
与三
あふまき
よき



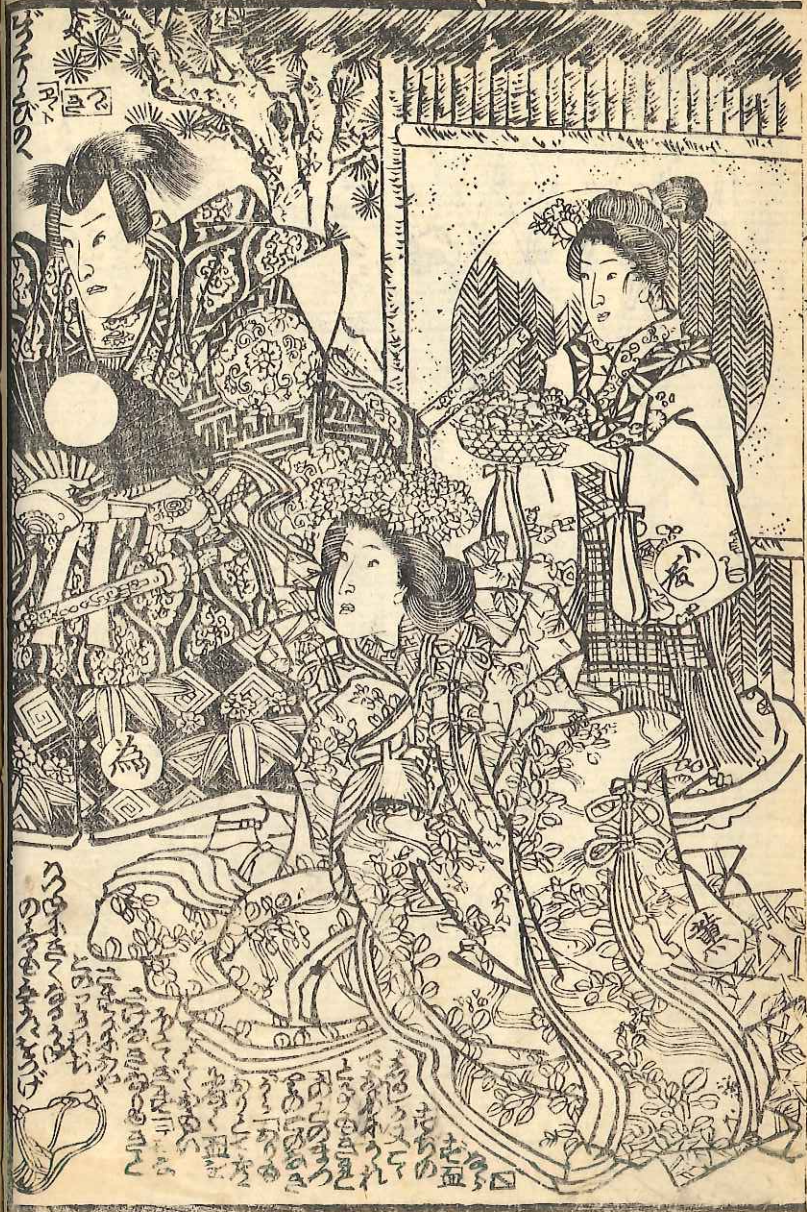
仰う花
さう人
り和を
時をう
多魚

伊豆屋
下男
忠助
いづやの
しもへ
ちゅうすけ









[illegible][illegible]

榮久堂刊行藏板略目

薄紫うすむらさき 宇治うぢ 曙あけぼの

九八七
編編編

笠亭仙果作
一壽齋國貞画

与話情浮名横櫛

大七六
尾編編

楫田舍好文作
一勇齋國芳画

菜種ななの花はな双蝶ふたて々々

二冊
よみ

仙果作
國輝画

の葉 仙女香
美玄香

四十八銅
坂本氏

御み 伽か 譚たん 博はく 多た 新しん 織お

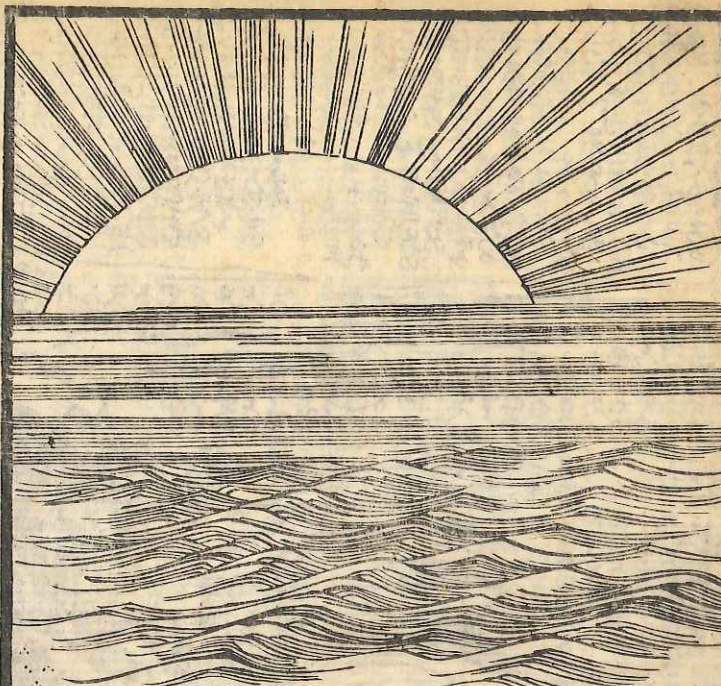
五十六編

楫田舍好文作
一勇齋國芳画

桃太郎
鬼島記

椿說鬼魅談語

爲永春水作衣多より
一雄齋國輝画五編

[illegible]

画芳國作文好

